

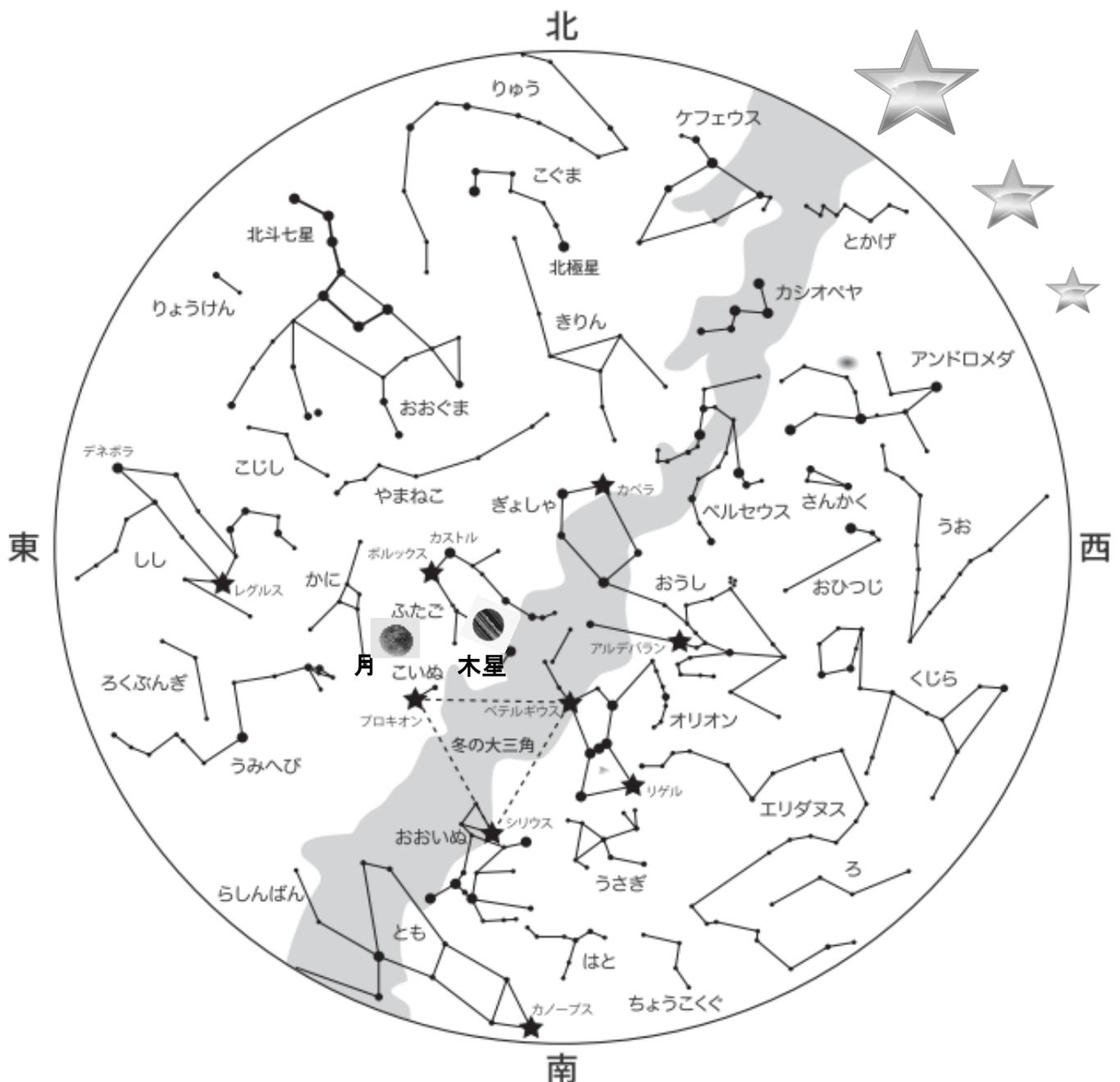
松江市立天文台～2月の天文教室～

2014年2月12日

1年中で一番寒い時期で、夜空を眺める機会も少ないかもしれませんが、外へ出ることがあれば、ちょっとだけ上を向いてみてください。

意外にたくさんの星が見えるので驚くかもしれません。おおいぬ座の α 星シリウスや木星が、冬の澄んだ空気の中で輝きを放っています。

2月中旬午後8時頃の星



2月上旬の午後8時頃の星空です。

月や木星は2月12日の位置を表示していますが、見かけの大きさとは異なります。

実際の空を見ながら星を探すときは見る方角を下にして見てみましょう。



★今夜は月齢12

今夜は月がふたご座と、かに座の間にあります。

月は、地球から約38万キロの距離にある衛星で、その直径は、約3千500km、私たちに最も身近な天体です。

満月まであと三日の月はとても明るいので、今夜星座を見る時には、ちょっと目ざわりかもしれません。

★木星

木星は、太陽系最大の惑星です。

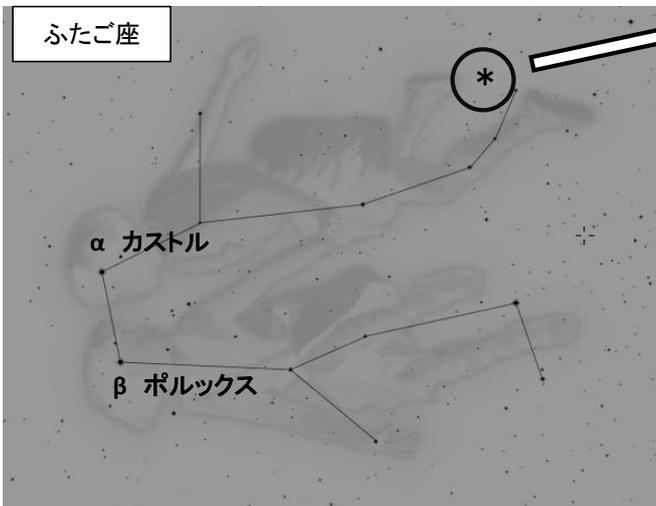
小型の天体望遠鏡でも表面のしま模様や、4大衛星(ガリレオ衛星)の位置を観察できます。

木星の向きによっては、表面の大赤斑(巨大なうず)も見られます。



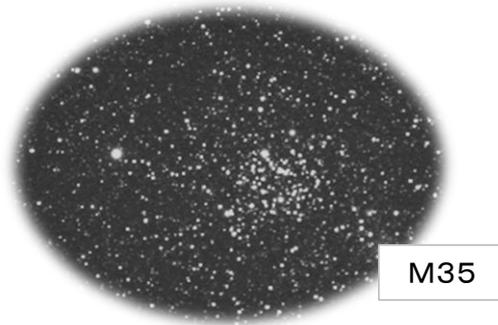
※月も木星も、実際に天体望遠鏡で見ると、上下左右がさかさまに見えます。

★ふたご座とM35



M35はふたご座に見える散開星団です。

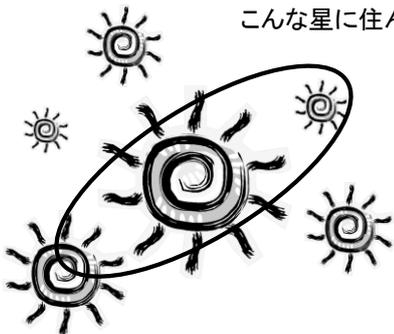
双眼鏡でも、星が集まっているのが見え、天体望遠鏡で見ると、たくさんの星の視野いっぱい広がる美しい姿を見せてくれます。



ふたご座はその名のとおり、ギリシャ神話に登場する双子の兄弟を表しており、兄弟の名前「カストル」と「ポルックス」がそれぞれα星とβ星に付けられています。

α星のカストルは1.58等の星ですが、天体望遠鏡で観察すると二つの星に分かれて見えます。このふたつの星は互いの引力で回っている「連星」ですが、その後の研究で実際は6つの星が回りあっている6連星であるとわかりました。

こんな星に住んでいたら、いつも何個か太陽が出ていて、夜が来ないかもしれませんね。



次回の天文教室は

3月12日(水) 20時から21時(受付19時30分から)です。



★ MAC Matsue Astronomy Club 松江星の会